

地域の応援を受け出店した個性派飲食店を見学

～阪神新在家駅高架下・一挙開店お披露目ツアー～



当商工会議所では、市内の特徴あるお店や知る人ぞ知る名店の掘り起こしを行い、その魅力をツアー形式で一般市民に紹介する「商店観光ツアー」を開催しているが、今回は阪神新在家駅

の高架下に新たにオープンした5つの飲食店を巡る「阪神新在家駅高架下・一挙開店お披露目ツアー」を開催した。(5月28日)

ツアーの舞台である、阪神電鉄新在

家駅高架下は、かつて多数の飲食店が軒を連ねていたが、阪神・淡路大震災で壊滅的な被害を受け、高架復旧後も長い間、空き区画が存在していた。

こうしたなか阪神電鉄では、同高架下活性化のため、投資ファンド運営会社ミュージックセキュリティズ(株)と組み、地域住民などから少額の投資を募って、高架下空き区画への飲食店などの出店を支援する「ソダッテ阪神沿線新在家編」プロジェクトを実施。これを利用し5月29日、5店舗が一斉オープンした(5月18日に1店舗が先行オープン)。

今回は、阪神電鉄の協力も得て、これらの飲食店を開業前日の5月28日、特別に見学させて頂いたもので、多数の応募者の中から抽選で当選した参加者は、各店自慢の料理を試食しながらお店の特徴などを聞いて回った。

最初に訪問したのは、「とりかつめし新在家」で、店名の由来となった「とりかつめし」は、まかない料理をヒントに考案したオリジナル料理。2店目の「かまど串焼 にくのひ」は、“美味しいお米と懐かしさの残るくつろぎの空間”をコンセプトにした居酒屋。

3店目の「立ち喰い酒場 酒達(さかだち)」は、垂水漁港の昼網など旬の鮮魚を使用した料理を提供する。4店目の「お好み焼・焼そば ひめ」は、服飾店経営の地元出身のオーナーが一念発起して出店。最後の「窯焼ピッツア&生パスタil CONAMON(イル コナモン)」は、店内で製麺する生パスタや窯焼ピッツアが味わえるイタリアンレストランで、キッズスペースも設置している。

いずれの店舗も新在家に縁や想いを持つものばかりで、地元愛に満ちた個性派が揃っていた。

ツアー終了後、参加者からは、「今回訪問した店をまた利用したい」といっ

た感想や「こうした食に関するツアーをもっと開催してほしい」といった要望が寄せられた。

(参加者10名)

